

第七十九回帝國議會 衆議院

所得稅法中改正法律案外十七件委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案
 所得稅法中改正法律案(政府提出)(第一〇號)
 法人稅法中改正法律案(政府提出)(第一一號)
 所得稅法人稅內外關涉法中改正法律案(政府提出)(第一二號)
 相續稅法中改正法律案(政府提出)(第一三號)
 織物消費稅法中改正法律案(政府提出)(第一四號)
 物品稅法中改正法律案(政府提出)(第一五號)
 電氣瓦斯稅法案(政府提出)(第一六號)
 廣告稅法案(政府提出)(第一七號)
 馬券稅法案(政府提出)(第一八號)
 印紙稅法中改正法律案(政府提出)(第一九號)
 臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)(第二〇號)
 特別法人稅法中改正法律案(政府提出)(第二一號)
 營業稅法中改正法律案(政府提出)(第二二號)
 臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)(第二三號)
 國庫出納金端數計算法中改正法律案(政府提出)(第二四號)
 戰時災害國稅減免法案(政府提出)(第二五號)
 所得稅等ノ日滿二重課稅防止ニ關スル法律案(政府提出)(第二六號)
 地方分與稅法中改正法律案(政府提出)(第二七號)

會議

昭和十七年二月五日(木曜日)午後一時二十七分開議
 出席委員左ノ如シ

- 委員長 勝 正憲君
 理事 川崎末五郎君 理事 大石 倫治君
 理事 河野 密君 理事 松永 義雄君
 青山 憲三君 石坂 養平君
 伊藤 五郎君 猪野毛利榮君
 卯尾田毅太郎君 宇賀 四郎君
 小川郷太郎君 小高長三郎君
 小野 謙一君 岡本實太郎君
 藤田 若水君 豐田 收君

篠原 陸朗君

高橋熊次郎君

立川 平君

藤本 捨助君

青木 作雄君

村上紋四郎君

森 肇君

山本 芳治君

百瀬 渡君

加藤 鯛一君

大橋清太郎君

賀屋 興宣君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

內務次官 湯澤三千男君

內務省地方局長 成田 一郎君

內務書記官 小林 千秋君

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 松隈 秀雄君

大藏書記官 池田 勇人君

大藏書記官 平田敬一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

所得稅法中改正法律案(政府提出)

法人稅法中改正法律案(政府提出)

所得稅法人稅內外關涉法中改正法律案(政府提出)

相續稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

物品稅法中改正法律案(政府提出)

電氣瓦斯稅法案(政府提出)

廣告稅法案(政府提出)

馬券稅法案(政府提出)

印紙稅法中改正法律案(政府提出)

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)

特別法人稅法中改正法律案(政府提出)

營業稅法中改正法律案(政府提出)

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

國庫出納金端數計算法中改正法律案(政府提出)

戰時災害國稅減免法案(政府提出)

所得稅等ノ日滿二重課稅防止ニ關スル法律案(政府提出)

地方分與稅法中改正法律案(政府提出)

勝委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス

前會申上ゲテ置キマシタ通り、若シ簡單ナ
ル質問ガアレバ之ヲ許スト云フコトニ御決
定ヲ願ツテ居リマスガ、小川郷太郎君並ニ
岡本實太郎君ヨリ簡單ナ質問ヲ致シタイト
云フ御申出ガアリマスカラ之ヲ許スコトニ
致シマス——岡本實太郎君

○岡本委員 廣告稅ノ取扱方ニ付テ御伺ヒ
致シタイノデアリマス、具體的ニ申セバ、
簡單ナ例ガ想像出來マス、法案ニ依ツテチ
ラシ千個二十錢ト云フ稅ガ付イテ居ツタカ
ト思ヒマスガ、稅務署ノ所在地ヲ離レルコ
ト十里、十五里或ハ二十里ト云フヤウナ
遠方ノ山村僻地デ可ナリチラシヲ配ルコト
ガアルドラウト思ヒマス、現ニ吾々ガナス
時ニ於キマシテモ、選舉ノ時ニハ、是ハ公
ノ選舉デ要リマセヌガ、選舉以外ニ議會報
告トカ或ハ其ノ他ノ演說會ヲナス時ニ、斯
カル僻地デチラシヲ配ルノニ、ワザノ人
夫ヲ備フノモエライノデ、其ノ附近ノ子供
位ヲ使ヒマシテ配ルコトガアリマス、僅カ
二十錢ノ稅ヲ稅務署ノ所在地マデ行ツテ一
一納稅シナケレバナラヌト云フヤウナコト
ハ、殆ンド想像ガ出來ナイ、斯フ云フヤウナ
場合ニハ、ドウ云フ風ニシテ御取扱ヒニナ
ルカ、其ノ運用方法デアリマス、之ヲ承リ
タイ

○松隈政府委員 御答へ申上ゲマス、廣告
稅法第二條第二種第三號ノ廣告、即チチラ
シ等デアリマスガ、其ノ納稅義務者ハ第
五條ニ第二種第三號ノ廣告ニ對スル廣告稅
ハ同號ニ掲グルモノヲ作製スル者ヨリ、之
ヲ徵收ス、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマ
ス、大體ニ於キマシテ、チラシ類ヲ作製致
シマスル者ハ印刷業者デアルト思ヒマス、
其ノ印刷業者ヲ徵收義務者ニ致スノデアリ

マス、業者ハ廣告主カラ印刷ノ依頼ヲ受ケ
マシタ時ニ、チラシニ對シマスル税金、即
チ千個又ハ其ノ端數ニ付キ二十錢ヲ徵收致
シマシテ、之ヲ翌月稅務署ニ納メルノデア
リマス、隨ヒマシテ業者ハ一々デハナク、纏
メテ翌月納メマスルカラ、或ル程度稅務署
カラ距離ノアル所ニ營業致シテ居リマシデ
モ、左程ノ面倒ハナイノデハナイカト思ヒ
マス、唯個人ノ場合デアリマスルト、業者
ノヤウニ纏メテ翌月納メルト云フヤウナコ
トデアリマセヌカラ、手數ガ割合ニ億劫ダ
ト思フノデアリマス、サウ云フコトモ考ヘ
マシテ、且ツ個人ノ致シマス場合ハ、極メ
テ僅カノ枚數ヲ狭イ範圍ニ配ル程度ノモノ
デアラウトモ考ヘマシテ、文字ノ上カラ申
シマス、個人ガ自ラチラシヲ作ツテ配ル
ト云フ場合ニ於キマシテハ、作製スルト云
フノニ入ラスコトハナイノデアリマスケレ
ドモ、大體個人ガ自ラ手デ書イタリ、或ハ
手デ書クコトヲ略シマス爲ニ謄寫版等デ刷
ツテ廣告ヲ致シマスト云フ場合ニ於テハ、
課稅ヲ致サナイ取扱ニ致シタイト存ジテ居
リマス、尙ホ其ノ場合ニ於テモ、業者ガ自
分ノ爲ニナル、チラシヲ印刷スルコトヲ業
トシテ居ル者ガ自分ノ爲ニ廣告ヲシタト云
フヤウナ場合デアレバ、是ハ課稅ヲ致シタ
イト思ツテ居リマス

○岡本委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス
○勝委員長 ソレデハ小川君
○小川(郷)委員 此ノ増稅案ニ付キマシテ
ハ、質問應答ガ交サレマシテ、モウ殆ド言
フコトハナイコトニナツテ居リマスガ、私
ハ最後ニ少シク私共ノ意見ヲ述ベテ政府ノ
之ニ對スル考ヘ方ヲ聽イテ置キタイト思フ
ノデアリマス、ト申シマスノハ、翼贊議員

同盟ハ委員會ヲ設ケマシテ、此ノ戰時ノ稅
制ハドウ云フコトデナケレバナラヌカト云フ
コトニ付テ少シ研究ヲシテ居リマシタノデ、
其ノ考ヘ方ニ付テ主トシテ申述ベテ政府ノ
御意見ヲ承リタイノデアリマス、日本ノ稅
制ハ平時ノ稅制ト致シマシテハ、洵ニ立派
ニ出來テ居ルト思フノデアリマス、コンナ
立派ノ稅制ガアルカトモ思フ程立派ナモノ
デアルト思ヒマスガ、戰時ノ稅制トシテハ
ドウデアルカ、斯ウ云フコトニ付テ一ツ考
ヘテ見ル必要ガアルト思フノデアリマス

稅制デヨク租稅體系ト申シテ居リマスガ、
租稅體系ヲ打立テマス此ノ支柱トナルヤウ
ナ考ヘ方ヲ、租稅負擔均衡トカ、或ハ負擔
均等ト云フヤウナ文字デ言ヒ表ハシテ居リ
マスガ、兎ニ角稅力ニ應ジテ稅ヲ負擔ス
ル、ソレカラ金ヲ持ツテ居ル者ニウント稅
ヲ課ケル、金ノナイ者ニハ稅ヲ少クスルカ
或ハ課ケナイ、是ガ一番大キイ考ヘ方ニナ
ツテ居ルト思フノデアリマス、併シナガラ
日本國民ハ總テ納稅ノ義務ヲ負フト憲法ニ
言ツテ居ラルル通り、各人ガソレヲ普ク負
擔スルノダト云フ此ノ理念モ、勿論平時ノ
租稅體系ノ上ニ於テハ考ヘラレスコトモア
リマセヌガ、社會政策トカ色々ノ見地カ
ラ、各人ガ皆稅ヲ擔フト云フコトハ事實ニ於
テ非常ニ制限ヲ受ケテ居ルノデアリマス、

所ガ此ノ戰時ノ租稅體系トシテハ、勿論擔
稅力ノアル者ニ多々益、課ケテ行カナケレバ
ナリマセヌガ、併シ各人ガ何レモ租稅ヲ負
擔スルト云フ、即チ負擔普遍、普ク行渡ル、
斯ウ云フ考ヘ方ガ餘程現ハレテ來ナケレバ
ナラスモノダト思フノデアリマス、現ニ第
二國民兵マデモ徵集スルト云フヤウナ
コトニナリ、勞働トシテハ各人ガ皆働カナ

ケレバナラヌト云フコトガ強調サレテ居ル
今日ニ於キマシテハ、租稅ト致シマシテモ、
各人ガ皆背負ツテ行ク、斯ウ云フ建前ガ強
調サレナケレバナラナイト思フノデアリマ
ス、各人ノ稅額ハ少クテモ、皆寄集マツテ
行ケバ非常ニ大キナ稅額ニナルノデアルカ
ラ、少クトモ斯ウ云フ風ニ稅制ヲ組立テテ
行クベキデハナイカト思フノデアリマス、
是ハ直接稅ニモサウデアリマスシ、間接稅
ニ於テモサウデアアルノデアリマス、今度ハ
直接稅ヲ主トシタ増稅案ガ出テ居リマス
ガ、承ル所ニ依リマス、其ノ御改正ニ依
ツテ所得稅ナンドカノ納稅者ト云フモノハ先
ヅ七百万人位ドラウト言フノデアリマス、
内地人ガ七千万人居ルトシマスレバ、七百
万人ノ人間ガ稅ヲ背負フ、十人ニ一人ダト
思フノデアリマス、是ハ宜イト言ヘバ宜イ
ノデアリマスガ、併シチラシ各人ガ皆働ク、
第二國民兵モ出テ行クト云フ此ノ戰時下ニ
於キマシテ、是ハ尙ホ進ンデ考ヘルベキ餘
地ガアルモノデハナイカトモ思ハレルノデ
アリマス、殊ニ惡性「インフレーション」ノ
對策ト致シマシテ浮動購買力ヲ吸收スルト
云フ考ヘ方ガアル、是ハ今後ニ於テハモツ
ト私ハ強調サレナケレバナラヌト思フノデ
アリマスガ、サウ云フ風ナコトカラ言ヒマ
スト、此ノ租稅ノ上ニモ其ノ趣旨ヲ達成ス
ルヤウニ仕組ンデ行ク、斯ウ云フコトニナ
リマスレバ、戰時ノ租稅體系ト致シマシテ
ハ、平時ノ租稅體系ト少シ違ツタ色彩ノア
ルヤウナモノニ組立テ直シテ行ク必要ガア
ルヤウニ思フノデアリマス、大體ハ狙ヒ
ドコロデアリマスガ、之ニ付キマシテ大藏
大臣ノ御考ヘ方ヲ承ツテ置キタイト思ヒマ

ス

○賀屋國務大臣 戰時ニ於キマシテ必要ナル國費ヲ國民ノ負擔ニ依ツテ作ルト云フコトガ、稅ノ第一義デアルト云フ御説ニ拜承致シマシタ、御尤モ存ジマス、國民ハ皆兵デアル、皆稅ヲ納メル、此ノ根本ノ精神ハ全ク御同感デアリマス、負擔ノ均衡ト云フコトハ稅制ノ上ニ於テ極メテ重要ナコトデアリマス、併シナガラ戰時ニ於テハ負擔均衡ヲ至上ノ主義トシテノミ守ツテ行クト云フコトハ、強チ適切デナイト私ハ存ジテ居リマス、御説ニ付キマシテハ、其ノ實行ニ付キマシテ尙ホ今後能ク研究シテ參リタイト思ヒマス

○小川委員 大藏大臣ノ考ヘ方デアリマス下、此ノ日本ノ國稅、或ハ地方稅ヲ通ジマシテ戰時ノ色彩ヲ帶ビタ稅制ヲ打立テ餘地ガ相當アルノダラウト思フ、此ノ委員會ノ席上デモ、地方稅ヲモウ少シ伸縮スル餘地ガアルナイト云フヤウナコトカラ、市民稅ノ御議論モアツタヤウデアリマス、從來ノ經緯モアリマスケレドモ、私ハ今ノヤウナ立場カラ見マスルト更ニ檢討ノ餘地ガアルダラウト思フ、是ハ地方稅トシテ宜イカ、國稅トシテ宜イカ知リマセスガ、兎ニ角戰時下ニ於テ國民ノ負擔ヲ如何ニナスベキカト云フ點ニ付テ、其ノ根本ノ考ヘ方カラ割出シテ、具體的ニ色々ノ考究ノ餘地ガアルト思フノデアリマス、段々大藏大臣ノ考ヘ方ヲ承リマシタノデ、其ノ方針デ更ニ調査サレンコトヲ望ミマス

尙ホモウ一ツ違ツタ角度デゴザイマシタガ、何分大キナ戰爭デアリマスカラ、大キナ稅ガ要ルノデアリマシテ、今日マデノ増稅ノ案ヲ見マスルト、大體ニ於テ稅率ヲ上ゲルトカ、多少稅種ヲ擴張シタノモアリマ

スケレドモ、今度ノ直接稅ノ増稅案ト云フモノハ、分類所得稅ノ稅率ヲ動かシタカ、或ハ其ノ他免稅點ヲ低メテ行クトカ云フヤウナ、極メテ技術的ニ簡單ナ方法ヲ執ツテ居ラレルヤウデアリマス、ソレカラ七十七議會ニ出マシタ間接稅ノ増徴ニ付キマシテモ、多少ハ稅種ヲ擴張ヲ見タ所モアリマスケレドモ、大體此ノ稅率ヲ動かシテヤルト云フヤウナ狙ヒガ見エテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ハマダ餘地ハアリマシタ、ソレハ政府委員ノ方カラ御答ヘニナリマシタヤウニ、此ノ直接稅ノ方デ分類所得稅ノ稅率ヲ高メテ増稅ヲ圖ルト云フコトハ、實ハ何回モヤルベキモノヲ一遍ニヤツタト云フヤウナ御話モアツタヤウニ承知シタノデアリマス、ソレデ稅率ヲ動かシテドンノ高メマシテモ、ソレハヤハリ限度ガアルノデアリマス、ソレデアリマシタカ、今前段ニ申上ゲマシタヤウナ趣旨ヲ貫ク上ニ於キマシテモ、餘地ノアルモノハ益、稅率ヲ上ゲテヤツテモ宜シウゴザイマスケレドモ、モツト他ノ方面ニ工夫スル必要ガアルノデハナイカト思フ、殊ニ斯ウ云フ大キナ稅額ヲ生ミ出ス時分ニハ、納稅心理ト云フヤウナモノモ能ク擱ミマシテ、知らズ識ラズノ間ニ國民ガ稅ヲ背負ツテ居ツテ、ソシテソレヲ集メテ見レバ非常ニ大キナ額ニナルト云フヤウナ稅ニ狙ヒヲ付ケル必要ガアル、ソレハ勿論片方ニ於テ財產階級下カ所得ノ多イ者ニノミト云フ意味デハアリマセス、ソレハ何處マデモヤラナケレバナリマセスガ、ソレト同時ニ今ノヤウナ立場

デ行キマス、間接稅ヲ相當ニ増徴スル、或ハ間接稅ト云フヨリハ流通稅ト云フヤウナモノヲ體素ツケテ行クノガ宜イノデハナイカト思フ、今日マデノ間接稅ト云ヒマスト、唯嗜好品デアル酒トカ、煙草トカ、砂糖トカ云フヤウナ、少々ノモノニ稅ヲ課ケルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ幾ラ率ヲ上ゲマシテモ、自ラソコニ限界ガアルト思フノデアリマス、ドウシテモ消費稅ト申シマスナラバ消費稅ノ品種ヲモウ少シ擴張シテ、總テノ人ガ稅ヲ擔フ、サウシテ總テノ人ガ知ラズ識ラズノ間ニ稅ヲ背負ツテ行クト云フ趣旨ヲ貫クコトガ必要デヤナイカト考ヘルノデアリマス、ソレハ間接稅ト云フコトデ言ヘバサウデアリマスガ、世ニ所謂流通稅ト云フモノハ——間接稅ト云フモノハ色々見方モアリマセウガ、此ノ流通稅ニ付テ所有權ノ移轉トカ取引トカ云フヤウナモノニ稅ヲ課ケルト云フコトニナレバ、極メテ輕微ナモノデアツテモ額ガ多クナツテ來マシテ、戰時稅ト致シマシテハ相當ナル效能ヲ發揮スルモノデアアル、外國ノ立法ニ於キマシテモ、サウ云フコトヲ隨分採用シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、日本ノ物品稅ト云フモノハ一寸ソレニ似テ居リマスケレドモ、元々奢侈稅ト云フ觀念カラ出テ來タモノデアリマス、ソレヲ大分擴張セラレタヤウデアリマシタケレドモ、昔ノ歴史ニ囚ハレテ奢侈品デナイモノマデ稅ヲ取ルヤウニナリマシテモ、ソコニ何カ制約サレルヤウナモノガアリマシテ、物品稅ノ發達ガ十分ニ出來テ居ナイヤウニ思フノデアリマス、ソレデアレバイツソノコトハ改組致シマシテ、外國ニモ例ノアリマシヤウニ賣上稅、或ハ取引稅デモ宜シウゴザイマスガ、普通ノ賣買移轉ノアル所ニ、物品稅ノヤウナ大キナ稅率デナイモノヲ課ケテ、多クノ者カラ取ツテ稅額ヲ大キクス

ル、斯ウ云フ風ニスベキデヤナイカ、即チ賣上稅ヲ中心ニシテ或ハ印紙稅トカ登録稅其ノ他所謂流通稅ト云フヤウナ大キナ建物ヲ拵ヘル、或ハ間接稅ト云フコトデ、消費稅者ノ苦シイヤウナコトガアツテハイカスト云フナラバ、其ノ流通稅ト云フ觀念デ行ケバ、必ズシモ品種ヲ限ツタモノデアイト考ヘマスカラ、此ノ流通稅體系ト云フモノヲ立派ニ確立シテ、ソレデ非常ニ大キナ稅額ヲ生ミ出ス、サウスレバ各人ガ皆負擔スルト云フ趣旨ニモ適ヒ、又購買力吸收ト云フコトモ出來ル、斯ウ云フコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、今ノ直接稅、間接稅ト云フコトニ付テ考ヘテ見マス、今回十一億五千萬圓ノ直接稅ノ増徴ガアツタノデアリマスカラ、七十七議會ニ六億何千萬圓ノ間接稅ノ増徴ガアリマシテモ、今日ノ日本ノ稅制トシテハ直接稅、間接稅兩方睨合セテ見マス、ドウモ直接稅ノ方ニ大分偏傾シテ居ルヤウナ憾ミガアルノデアリマスガ、戰時ニ於テハ私ハ間接稅ガ少クナクテハイカス、直接稅ノミニブツカラナケレバナラヌト云フヤウニ實ハナルノデヤナイカト思ヒマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテモ、ドウシテモ日本ノ是カラ後ニ戰時ノ要求ニ應ジテ色々ノ經濟、財政上ノ要望ヲモ充シテ、稅ト云フモノヲ皆クヤツテ行クト云フコトガ必要ト思フノデアリマスガ、サウ云フ風ナ考ヘ方ハドウデアリマセウカ、是ガ私共ガ色々ノ研究シタ考ヘ方ナノデアリマス、政府ノ見ル所ヲ御聽キ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 種々各般ニ互リマシテ御研究ノ結果ノ御意見ヲ拜聽致シマシタ、尙ホ能クソレ等ノ點ニ付キマシテハ今後十分

ニ研究ラシテ參リタイト存ジマス

○小川委員 私ハモウ是ダケニシテ置キマス、國民負擔ノコトデ重大ナ事デモゴザイマスカラ、ドウカ能ク衆智ヲ盡シ御研究アツテ、一般國民ノ共ニ此ノ戰爭ヲヤツテ行クト云フ氣分ニ相應ジテ、租稅ノ方面モ整ヘラレンコトヲ祈リマス

○勝委員長 是ニテ質疑ハ終了致シマシタ

○勝委員長 是ヨリ所得稅法中改正法律案、法人稅法中改正法律案、所得稅法人稅内外地關涉法中改正法律案、相續稅法中改正法律案、織物消費稅法中改正法律案、物品稅法中改正法律案、電氣瓦斯稅法案、廣告稅法案、馬券稅法案、印紙稅法中改正法律案、臨時利得稅法中改正法律案、特別法人稅法中改正法律案、營業稅法中改正法律案、臨時租稅措置法中改正法律案、國庫出納金端數計算法中改正法律案、戰時災害國稅減免法案、所得稅等ノ日滿二重課稅防止ニ關スル法律案、地方分與稅法中改正法律案ヲ一括シテ議題トシテ討論ニ入りマス、討論ハ通告順ニ依ツテ之ヲ許シマス——川崎末五郎君

○川崎(末)委員 私ハ只今議題ト相成ツテ居リマスル所得稅法中改正法律案外十七件ニ付キマシテ、翼贊議員同盟ヲ代表致シマシテ、政府ノ原案ニ贊成ノ意ヲ表スル次第デゴザイマス

今日御提案ニナリマシタ主トシテ直接稅ノ増稅額ハ、平年度ニ於テ十一億五千萬圓ノ増收ヲ見込シテ居ラレバ、何ツタノデアリマスガ、之ヲ昨年ノ第七十七回帝國議會ニ於テ協贊ヲ與ヘマシタ酒稅法其ノ他ノ改正ニ依リマスル、主トシテ間接稅ノ増

徵六億三千餘萬圓ト合セテ考ヘマスルト、平年度ニ於テ國稅ニ於テ直接稅間接稅ヲ通ジテ約十七億八千萬圓、十八億圓位ノ増稅ニ相成ツタヤウニ伺ツタノデアリマシテ、此ノ増稅額ハ之ヲ増稅割合カラ申シマシテモ、又絕對額ト致シマシテ、昭和十七年度ニ於テ約七十一億ノ租稅收入ヲ見込シテ居ラレマスニ對比致シマスレバ、決シテ是ハ輕イ増稅トハ考ヘナイノデアリマス、隨ヒマシテ是ガ一般國民ノ頭ニ及ボシマスル負擔ハサウ輕イモノデハナイト云フコトヲ私達考ヘナクテハナラスシ、恐ラク政府當局ニ於テモ其ノ點ハ十分ニ御考ヘニナツテ居ラレルコトト思フノデゴザイマス、併シナガラ此ノ増稅ガ何ガ爲ニ必要デアツテ、ドウ方面ニ充當サルベキモノデアルカト云フコトヲ考ヘマスレバ、少クトモ昨年ノ十二月八日ニ宣戰ノ大詔ガ澳發サレマシテ、吾吾ハ英米ヲ相手ト致シマシテ、眞ニ國運ヲ賭シテノ一大決戰ニ臨ムニ至ツタノデアリマシテ、ソレガ爲ニ要スル經費ト云フモノハ、凡ユル工面ヲシテ吾々ガ出サナクテハナラス、負擔ヲシナクテハナラス、戰爭ニ勝ツ爲ニハ生命モ財產モ、國民ハ總テヲ擧ゲテ御奉公シナケレバナラスコトハ言フマデモナイコトデアリマシテ、國民總テ此ノ點ヲ能ク覺悟シ自覺致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今回ノ増稅ニ當リマシテモ、各案ノ内容ニ付キマシテ、各稅ノ稅率其ノ他ニ付キマシテハ、是ハ僭越デハゴザイマスケレドモ、政府ノ原案其ノモノガ、納稅ヲスル側カラ言ヘバ、即チ之ヲ負擔スル國民カラ言ヘバ、完全無缺ナリトハ私ハ能ク斷言スルコトガ出來ナイノデアリマス、併シナガラ吾々ハサウ云フ區々タルコ

トヲ捨テテ、今ハ唯戰爭ニ勝ツ爲ニ政府ヲ支持シ、此ノ聖戰ヲ完遂シテ戴キタイ爲ニ、吾々ハ此ノ増稅案ニ對シマシテ雙手ヲ擧ゲテ贊成ヲ致ス次第デアリマス、就キマシテハ、之ニ關聯シテ、二ノ點ヲ私ハ申述ベテ、希望ナリ或ハ政府ニ對シテ、場合ニ依レバ御留意ヲ願ヒタイト思フコトガアルノデゴザイマス、只今先輩小川先生カラ戰時ニ於ケル増稅ノコトニ付テハ、我ガ翼贊同盟ニ於テノ大體ノ考ヘ方ヲ御開陳ナラレマシテ、ソレニ對スル大藏大臣ノ答辯ヲ伺ヒマシテ、此ノ點大イニ意ヲ安ンジ、意ヲ強ウスル點ガアルノデゴザイマス、隨ヒマシテ私ノヤウナ若輩ガ敢テ蛇足ヲ加ヘ、之ヲ重複シテ申上ゲルコトハ差控ヘベキモノデアルト思フノデアリマスルガ、併シナガラ一言ダケ私モ此ノ點ニ付キマシテ愚見ヲ申述ベテ、重ネテ大藏大臣ノ御留意ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス

其ノ第一點ハ、小川先生モ仰セラレタ通り、私達モ此ノ戰時ノ財政、殊ニ戰時ニ於ケル租稅ノ對策ト致シマシテ、國民ハ一方ニ於テ身ヲ犧牲ニシテ生命ヲ差上ゲ、御奉公致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ租稅ノ點ニ於キマシテハ、國民ハ總テ税金ヲ納メル、國民皆納稅スベキモノデアアル、此ノ趣旨ヲ飽クマデモ徹底シテ戴イテ、一人トシテ租稅ヲ免レル者ガナイヤウニシタ方が宜クハナイカ、之ニ依ツテ眞ニ吾々モ一億一心、御國ノ爲ニ御奉公シテ居ル、斯ウ云フ自覺ヲ益、強クセシメル意味カラ申シマシテ、サウ云フ御方針ヲ御執リニナツタ方が宜クハナイカ、是ガ第一點デアリマシテ、此ノ意味ニ於テ吾々ハ飽クマデモ納稅者ガ普通化スルコトガ必要デアルト思フノデア

リマス、此ノ趣旨ハ直接稅ニ於テモ間接稅ニ於テモ同様デアリマスルガ、間接稅ノ如キニ於キマシテハ、一層此ノ趣旨ニ於テ、從來所謂間接稅ハ、冤モスレバ是ガ大衆課稅デアルト云フコトニ於テ、社會政策上其ノ他ノ方面カラ考ヘマシテ、政府ニ於テモ亦吾々議會ニ於テモ、間接稅ノ増徵ハ大衆課稅デアアル、大衆ノ反感ヲ招イテハ困ル、大衆ヲ困ラシテハ困ル、斯ウ云フ善イ意味ニ於テモ惡イ意味ニ於テモ、動モスルト遠慮勝チデアツタ、其ノ結果トシテ我ガ國ノ今マデノ租稅ノ方カラ申シマス、直接稅ト間接稅トノ稅收ノ割合ガ、果シテ均衡ヲ得テ居ツタカドウカト云フコトモ一ツノ問題デアアル、過去ハ間ヒマセヌガ、私ハ先程申シタ意味ニ於テ、此ノ戰時ニ於テハ納稅者ヲ普通化スルコト云フ意味ト、國民ガ總テ應分ノ税金ヲ負擔シテ、此ノ方面カラモ御國ニ御奉公ラスル、斯ウ云フ意味ニ於テ、私ハ躊躇スルコトナク必要ナル場合ニ於テハ、間接稅ニ於テモ更ニ餘地アルモノニ對シテハ課稅ヲ増徵スベキモノデアルト思フ、又直接稅ニ於テモ同様ナ意味ニ於テ、私ハ今回ノ提案ニ於キマスル分類所得稅ノ、殊ニ勤勞所得ニ對スル免稅點、扶養控除ノ引下ノ如キ、或ハ不動産所得ニ對スル免稅點ノ引下ハ、是ハ一部ニ於テハ議論ガアルカモ知レマセヌケレドモ、大體ニ於テ此ノ方針ヲ是認スル者デアリマス、唯此ノ場合ニ於テ、不動産ニ對シテハ、免稅點デナイ、免稅額デアアル、片方ハ扶養控除デアアル、此ノ關係ガ實際ノ納稅者ニ於テ如何ナル差別ガアルカト云フコトハ、稅務當局ニ於テハ十分御承知ノ點デアリマス、果シテ其ノ點カラ言ヘバ不動産所得ニ對スル二百五十圓

一四八

フ百五十圓ニスル、或ハ事業所得ノ基礎控除ノ引下ト云フコトモ、是ガ納稅者ニドウ響クカト云フコトハ、是等モ多少研究ノ餘地ガアリハシナイカト思フノデアリマス、今回ハ是認ハ致シマスケレドモ、又サウ云フ意味ニ於テ不動産所得ニ對スル分類所得稅ノ課稅ノ如キ、勤勞所得ニ對スル課稅ト比較致シマスレバ、果シテ是ガ均衡ヲ得タモノデアルカト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌガ、要ハ私ハサウ云フ區々タルコトヨリモ租稅ヲ普遍化スル、一人デモ國民全部ガ分ニ應ジテ稅金ヲ負擔スル、斯ウ云フ意味ニ於テモツト普遍化スルヤウニ考ヘテ貫ヒタイト思フノデアリマス

尙ホ今回ノ増稅ニ依ツテ將來ノ見透シハドウカト云フコトモ御伺ヒ致シタイノデアリマスケレドモ、恐ラク私ハ將來此ノ増稅ニ依ツテ、十八年度以降ニ於テ増稅ナシニ戰費ヲ賄ヒ、戰時財政ノ運營ヲシテ行カレルカト思ヒマスレバ、恐ラクハ、更ニ來年度ニ於キマシテモ亦増稅ノ問題ガ起キヌトモ限ラナイシ、又起ルコトハ、必然的デアルト考ヘナクテハナラヌ、斯ウ考ヘマスルト、此ノ稅制改革以來三、四年シカナリマセヌガ、現在ノ稅制ニ依ツテ唯稅率ヲ變更スルト云フコトノミニ依ツテ、果シテ是ガ將來巧ク運用シテ賄ヘ、而シテ增收ノ目的ガ達シ得ルカト云フコトヲ考ヘマスルト、場合ニ依ツテハ所謂戰時租稅對策ト致シマシテ、惡イトハ申シマセヌガ、現在ノ稅制ニ戰時ト云フ意味ヲ加味シテ根本的ニ再檢討ヲ致ス必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、若シサウ云フ場合ニ於キマシテハ、今申シタ納稅者ノ普遍化、或ハ間接稅、直接稅ノ均衡ヲドウスルカト云フコト

ハ、能ク御考慮願ツテ、ソレヲ按配シテ戴キタイト思フ、例ヘバ具體的ニ一例ヲ申上ゲマスレバ人頭稅ノ如キモ、極ク少額ノ人頭稅ノ如キモノモ、戰時中ニ於テハ考究スベキ一ツノ問題デアナイカ、財產稅ノ如キ、或ハ流通稅ノ中デモ、一例ヲ申シマスレバ、馬場財政以來問題ニナツタ賣上稅、物品稅ノ何レヲ取捨スベキカト云フヤウナコトモ私ハ御考ヘテ願ツテ、或ル場合ニ於キマシテハ、私達ハアノ當時ハ財產稅ノ如キ、賣上稅ノ如キハ、其ノ當時ノ實情カラ申シマスレバ如何カト考ヘ、寧ロ反對的ノ考ヘヲ持ツタノデアリマスケレドモ、此ノ戰時下ニ於キマシテハ、是等モ既往ノ行掛リニコダハラズシテ、極ク白紙ニ立還ツテ、國家ノ稅收ヲ上ゲル爲ニ考ヘラルベキ一ツノ問題デアナイカト思フノデアリマスカラ、能ク其ノ點ヲ御考ヘ願ヒタイト思フノデアリマス

尙ホ斯ウ云ツタ意味ニ於キマシテ、稅デハアリマセヌケレドモ、或ハ浮動購買力ヲ吸收スルト云フヤウナ意味カラ考ヘマシテモ、例ヘバ富鐵ノ如キ、是ハ大藏大臣モ曩ニ同僚議員ノ質問ニ對シテ、考慮研究サレツツアルト云フコトヲ伺ヒマシタガ、是等モ私ハ十分ニ眞面目ニ實行の御考ヘ願ヒタイト思フ一ツノ事例デゴザイマス

尙ホ今回ノ地方分與稅ノ改正案ニ付キマシテ、私達異存ハアリマセヌガ、地方稅關係ニ付テ一言內務當局ナリ大藏大臣ニ希望の意見ヲ申述ベテ、御留意ヲ仰イデ置キタイト思フノハ、質問中ニモ同僚モ私モ一言附加シテ御尋ネ致シタ次第デアリマスガ、此ノ支那事變勃發以來、殊ニ昨年ノ大東亞ノ大戰争ニ入ツテカヲト申シマシテモ、現在ヲ考ヘ將來ヲ思ヒマスルト、地

方ノ財政ト云フモノハ年々月々日々ニ膨脹ヲ致シテ居ル、殊ニ此ノ戰爭ニ關聯シテ、ドウシテモ支出シナケレバナラヌ經費ト云フモノハ、相當ニ増加シテ行クコトハ是ハ疑フコトノ出來ナイ事實デアル、而モ其ノ財源ハ如何ト申シマスレバ、地方ノ財源ハ國ノ財源ト違ヒマシテ、極メテ制限サレタ範圍内ニ於テ、極メテ制限サレタ稅源シカ持ツテ居ナイノデアリマスカラ、此ノ極ク平常的、經常的ナサウ云フ財源ノミニ依ツテ、斯ウ云フヤウナ臨時ノ費用ヲ支辨サスト云フコトハ、ソコニドウシテモ無理ガ起ツテ來ル、其ノ無理ガ何處デ「カバ」サレテ居ルカト云フト、地方當局ニ於テハ能ク御承知カモ知レマセヌケレドモ、稅以外ノ寄附金其ノ他ノ名義ニ依ツテ、名前ハ寄附其ノ他ノ自由意思ニ依ル出捐ノ名義デアリマスルガ、事實ニ於テハ、是ハ國稅ナリ地方稅ト同ジヤウナ、殆ド強制的、割當的ニ徵收サレテ居ル、是等ガ段々殖エテ來ル、又稅ノ中ニ於テ制限課率ノ如キハ、當初稅制改正ノ當時ニ豫想ダモシナカツヤウナ大キイ制限外ノ率ヲ課セザルヲ得ナイヤウニナツタ、是等ハ同僚ノ森君カラモ指摘サレタヤウデアリマシテ、私達モ大體ニ於テ森君ノ指摘サレタ事實ニ付テハ、中央當局ニ於テモ十分ニ御承知ヲ願ツテ置キタイ、是等ニ付テモ私ガ國稅ニ於テ申上ゲタト同様ニ、地方稅ニ於キマシテモ、當時事情ガ變ツテ居ル以上ハ、現在ノ事情ニ即シテ地方分與稅其ノ他ノ地方稅ノ稅制ニ付テ、其ノ實情ニ即シテ改正スベキ所ハ躊躇セズニ、極ク虚心坦懷ニ御考ヘ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲル、唯一言申上ゲタイノハ、ソレカト申シテ市町村民稅ノ如キ

ニ付キマシテモ、當時ハ彼ノ戶數割ノ弊害ニ願ミマシテ、餘程嚴重ニ制限シナケレバナラヌト云フコトハ當時ノ輿論デアツタ、併シ今ハモウ少シアレヲ緩和シテハドウカト云フ意見ガ多イヤウニ思フノデス、私達モ其ノ意見ニ付テハ敢テ反對ハ致シマセヌケレドモ、緩和ノ餘リニ、昔ノ戶數割ノ如キ弊ニ陥ラナイヤウニ御留意願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置クノデアリマス

尙ホ同時ニ國ト地方ニ於キマシテノ事務ノ委任關係デアリマスルガ、是等ノ委任ニ付キマシテハ、私ハ個人ト致シマシテハ、負擔區分ノ法律デモ拵ヘテ明確ニシタガ宜イト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、主稅局長ノ御答辯モアリマシタ、ソレ等ノ御意見ニ付キマシテ、吾々ハ十分其ノ事情ハ諒ト致シマスルガ、要ハ地方團體ガ國ノ事務ヲ必要ニ應ジテヤルコトハ當然ヤラナクテハナラヌノデアリマスルガ、其ノ費用ニ付テハ地方ニ無理ノナイヤウニ、政府ニ於テモ御考慮ヲ願ツテ、事務ヲ委任スルト同時ニ、其ノ財源カ然ラズンバ豫算ヲ與ヘルト云フコトニシテ、是ガ爲ニ過當ナ、無理ナ地方財政ノヤリ線ヲシナケレバナラナイヤウナ窮境ニ陥ラサナイヤウニ、政府ニ於テ御留意サレシコトノ希望ヲ申述ベテ本案ニ贊成スル次第デアリマス、重ネテ申シマスルガ、本員ハ政府ノ原案ニ對シテ全部先程申シタヤウナ理由ニ於テ欣然トシテ贊成ヲ致シマス

○勝委員長 大石倫治君

○大石(倫)委員 私ハ同交會ヲ代表致シマシテ、只今議題トナツテ居リマスル所得稅法中改正法律案外十七件ノ原案ニ贊成ノ意ヲ表シタイト存ジマス、本委員會ニ付託セ

ラレマシタル各案ハ、増稅又ハ新稅ノ創設
並ニ關係法令ノ調節整備ヲナシ、多少ノ減
免稅ヲ行フ劃期的ノモノデアリマス、之ヲ
具サニ檢討致シマスレバ、直チニ鵜呑トナ
シ能ハザルモノモアラウト思ハレマスガ、
戰時非常ノ場合、即チ大東亞戰爭ニハ飽ク
マデ勝拔カネバナラス今日ニ於キマシテハ、
已ムヲ得ザルモノト認メ、快ク贊成ヲ致ス次
第デアリマス、仍テ政府ハ其ノ運用實施ニ
當リテ兎角陷リ易キ官權濫用ノ弊ヲ慎ミ、
無理ヲ査定等ヲナシテ國民ノ忠誠心ヲ傷ツ
ケ、或ハ民力ノ涸竭ヲ招來スルガ如キコト
ナキヤウ十分ノ監督ト指導トヲ盡サレ、萬
遺憾ナキヲ期セラレシコトヲ要望シテ、大
乘のニ原案ニ贊成ノ意ヲ表スル次第デアリ
マス

○勝委員長 河野密君

○河野(密)委員 私ハ第一控室ヲ代表致シ
マシテ、只今議題トナツテ居リマス増稅
等ニ關スル各案ニ對シテ贊成ノ意思ヲ表明
致シマス

大東亞戰爭以來、急速ニ龐大トナリマシ
タ財政需要ニ應ズル爲ニ増稅ヲセラレルト
云フコトハ極メテ妥當デアリマシテ、其ノ
意味カラ私達ハ何等ノ異議ヲ挾ム者デハゴ
ザイマセヌ、唯此ノ際大藏大臣ニ申上ゲテ
置キタイ點ガ二、ニアルノデアリマス、大藏大
臣ノ本會議、豫算總會或ハ本委員會ヲ通ジ
マシテノ御意見ヲ拜聽致シマシテ、私ノ考ヘ
ル所ニ依リマスルト、租稅ニ對シマシテモ、
公債政策ニ對シマシテモ、極メテ無難ナ道
ヲ通ラウトシテ居ルヤウニ思ハレマス、又
經濟諸方策ノ改革ニ對シマシテモ、徐々ニ
順序ヲ逐ウテ進マレテ行クト云フコトヲ主
眼トセラレテ居ルヤウニ拜承致スノデア

リマス、私ハ戰時財政經濟ノ大宗ヲ握レル
ル大藏大臣ト致シマシテ、此ノ方針ハ妥
當デアルト考ヘルノデアリマス、ケレドモ
欲ヲ申シマスルナラバ、私ハ今ノ時代ハ單
ニ順ヲ逐ウテ起リ來ル事象ヲ追掛ケテ、後
カラ財政經濟ノ政策ヲ立テルト云フコトデ
ナク、先手ヲ打ツテ財政經濟ノ根本方針ヲ
國民ノ前ニ豫メ披瀝スルコトガ必要ナル時
代デハナイカト思フノデアリマス、二百四
十數億ニ達シマスル所ノ龐大ナル豫算ヲ消
化致シテ行クニ付キマシテハ、私ハ獨リ租
稅ノ窓、公債ノ窓カラノミ之ヲ遺憾ナク實施
シテ行クト云フコトニハ疑問ガアルノデハ
ナイカ、サウデナクシテ今少シク新タナル構
想ヲ以テ、新シイ方策ヲ樹立スル必要ガア
ルノデハナイカト思フノデアリマス、私ハ
此ノ點ニ付キマシテハ、本委員會ニ於キマ
シテモ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ツタノデアリ
マスルガ、例ヘテ申シマスルナラバ公企業
ヲ活用スル、臨時軍事費ノ中ニモ、南方物
資ニ對シテノ工作ニ關スルモノモ織込マレ
テ居ルヤニ伺ヒマスガ、是モ其ノ現ハレデ
ハナイカト存ズルノデアリマスルガ、サウ
云フ點ニ付テ考ヘルト云フコトモ必要デア
ル、更ニ現在我ガ國民ガ極メテ惑ウテ居リ
マスルノハ、南方ノ資源ニ關シテ説カレル
コト洵ニ多クシテ、現實ノ我ガ國ノ實情ト
云フモノハ益、統制ガ強化サレテ行ク、此
ノ間ニ於ケル矛盾ニ如何ニ對處スベキカト
云フコトニ國民ハ衷心カラ惑ウテ居ルト
思フノデアリマス、南方ノ資源極メテ重
大デアリマスルカラシテ餘ル物モアリマセ
ウ、足ラナイ物モアリマセウガ、政府ハ時
間ト距離トヲ計算ニ入レテ初年度ハ斯ク斯
ク、第二年度ハ斯ク、第三年度ニ於テハ

斯ク、ト云フ計畫的ナル方策ヲ立テラレ
テ、之ヲ國民ノ前ニ明示サレ、本年ハ此ノ
程度デアル、來年ハ此ノ程度デアルト云フ
コトヲ示シテ、國民ニ嚮フ所ヲ教ヘラレルコ
トガ急務デアルト存ズルノデアリマス、今
日米英ニ對シテ戰ヒテ宣スルマデハ國策ノ
物動計畫其ノ他ハ私ハ嚴ニ秘密ニスベキモ
ノデアツタト信ジマス、ケレドモ日本ノ經
濟力ヲ疑ツテ居ツタ米英ヲ相手ニシテ戰争
ニ入ツタ以上ハ、私ハ物動ノ内容其ノ他ニ
付テ必ズシモ秘密ニスベキ理由ハナイト思
フ、足ラナイ物ハ足ラナイ、餘ル物ハ餘ル
ト、堂々ト中外ニ發表シテ私ハ何等差支ヘ
ナイモノデアルト、斯様ニ考ヘルノデアリ
マス

更ニ私達ガ大藏大臣ノ御留意ヲ願ヒタイ

ト思ヒマスルノハ、先程來稅制ノ問題ニ付
テ先輩各位カラ、色々御意見ガアリマシタ
ガ、私ハ要ハ其ノ意見ヲ妥當トスルカ、妥
當トシナイカト云フコトハ、戰時ヲドウ考
ヘラレルカ、此ノ戰争ト云フモノガドノ程
度ニ長ク續クト考ヘルカ、戰時狀態ガ短イ
カ長イカト云フコトノ問題ト、戰後ノ經營
ヲ如何ナル方針ニ依ツテヤルノデアルカ、
大東亞ノ建設ノ方針ト云フモノヲ、ドウ云
フ根本原則デヤツテ行クカト云フコトニ懸
ツテ居ルト思フノデアリマス、私ハ政府ガ
戰争中極メテ御多用ノ折柄デアルトハ存ジ
マスルケレドモ、此ノ戰後ニ於ケル大東亞
建設ノ方針ト云フモノヲ、ドウ云フ風ニナシ
テ行クカト云フ指導方針ヲ明確ニ御示シ
ニナルコトガ極メテ重大ナル問題デア
ト存ズルノデアリマス、今日ノヤウナ狀態
ヲ進ミ、今日ノヤウナ理論ヲ進ンデ行クナ
ラバ、生レテ來ルモノハ何カ、私ハ決シテ

偏頗ニ申上ゲルノデハナイノデアリマスカ
ラ、誤解ヲシナイヤウニシテ載キタイト思
フノデアリマスガ、來ルベキモノハハ獨
占資本ノ強化ト云フコトガ現ハレテ來ルノ
デハナイカ、英米佛其ノ他ニ於テ見ラレル
ヤウナ二百ノ家族、百ノ家族或ハ八十ノ家
族ト云フヤウナモノガ一國經濟ノ大宗ヲ握
ツテシマフト云フヤウナ、サウ云フ事態ガ
起ルノデハナイカ、サウ云フコトニ對シテ
ハ豫メ私ハ警戒ヲ要スルノデハナイカ、更ニ
増稅ガ行ハレル度毎ニ、何ト申シマシテモ、
如何ナル工作ヲ施シマシテモ、必ズ重壓ノ
掛カツテ參リマスルノハ中小企業デアリマ
ス、此ノ中小企業ノ没落ト云フコトハ、今
日企業ノ統制其ノ他ニ於テ進ミツツアリマ
スルケレドモ、増稅ニ依ツテ拍賣ヲ掛ケラ
レルト云フコトダケハ十分ニ考ヘナケレバ
ナラナイト思フノデアリマス、増稅サレル
度ニ中小企業ガ段々ニ没落シテ行クト云フ
コトハ、是ハ免レ難イ勢ヒデアリマス、此
ノ點ニ付テハ私ハ稅制ノ問題デハ解決シ得
ナイ問題ト思ヒマスルノデ、大藏當局、殊
ニ財政經濟ノ當局ニ於キマシテ十分ナル御
留意アルベキモノト存ズルノデアリマス

最後ニ私ハ財政需要ガ極メテ龐大ニナツ

テ參リマスルノデアリマスカラシテ、吾々
ハ喜ンデ國費ノ負擔ヲ致シマス、國民ハ心
ノ底カラ稅ニ對シテ之ヲ負擔シヨウト云フ
氣持ニ燃エテ居リマス、何等之ニ對シテ異
議ヲ挾ム者ハナイ、戰争ニ勝ツ爲ニハ喜ン
デ稅ヲ負擔致ストハ存ジマス、ケレドモ政
治ノ局ニ當ル者トシテハ國民ノ獻身的ナル
氣持、犠牲的ナル精神ノミニ依頼スルコト
ナク、政治ノ運用宜シキヲ得テ、政治ノ妙
用ヲ發揮致シマシテ、是等國民ノ期待ニ副

ヒ、國民ノ嚮フ處ヲ察知シツツ手ヲ打ツテ
行カレルコトガ必要カト存ズルノデゴザイ
マス、以上極メテ僭越デアリマスルガ、未
熟ナ愚見ヲ述ベマシテ、大藏大臣ノ御留意
ヲ希ヒ、本案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表明スル
次第デアリマス

○勝委員長 松永義雄君

○松永(義)委員 松永義雄君
私ハ與亞議員同盟ヲ代表
致シマシテ、只今議題トナツテ居リマス所得稅
法中改正法律案其ノ他十七件ニ付キマシテ、
原案通り贊成ノ意ヲ表シマス

○松永(義)委員 松永義雄君

簡單ニ希望ヲ附加ヘタイト思フノデゴザ
イマス、私ノ申上ゲルマデモナク戰時財
政ノ經費ヲ賄フ爲ニ、大體租稅及ビ公債收
入ニ依ツテ居ルト云フコトハ勿論デゴザイ
マスガ、今日吾々ガ戰時經濟ト云フノハ、
物ノ經濟デアツテ、吾々日常生活カラ見マ
スレバ、最近ニ行ハレマシタ所ノ衣料ノ切
符制ニ見マス通りニ、吾々國民生活ノ切下
ニ對シテハ、現在ニ於テ之ニ耐ヘテ行カ
ケレバナラヌノミナラズ、例ヘバ吾々ガ着
テ居リマス所ノ洋服ニ付キマシテモ、之ヲ
新クニ註文シテ作ツテ行キマス時ニ制限ヲ
受ケテ居ルバカリデナク、將來長ク吾々ノ
着テ居ル所ノ洋服ニ修復ヲ加ヘテ、サウシ
テ堅忍持久、之ニ耐ヘテ行カケレバナラ
ヌト存ズルノデアリマス、サウシテ吾々ハ
廢品ノ回收、其ノ他戰時經濟ニ其ノ必要ナ
ル所ノモノハ總テ國家ニ提供致シマシテ、
サウシテ最後ノ勝利ヲ得ルマデ戰ヒ抜ク所ノ
覺悟ヲ持ツテ居ルト云フコトハ言フマデモ
ナイ所ナノデアリマス、而シテ吾々ハ其ノ
殘レル所ノ金ノ大小ヲ問ハズ、之ヲ貯蓄致
シテ居リマスコトハ又説明ヲ俟タナイノデ
ゴザイマスガ、租稅ニ依ツテ吾々ハ現在ニ

於テ負擔シテ居ル、公債デアレバ其ノ負擔
ハ將來ニ押殘シテ行クモノデアアル、公債ノ
收入カラ來ル將來ノ元利拂ハ、總テハ國民
ノ負擔トナツテ將來ニ押ヤツテ行クト云フ
コトヲ、モノノ本ニハ書イテアルノデゴザ
イマスガ、併シ戰時經濟ニ於キマシテハ、
吾々ハ如何ニ金ヲ假ニ殘シテ居リマシテモ、
物ノ經濟カラ申シマス、吾々ハ只今申上
ゲタヤウニ、耐ヘ忍ビテ行カケレバナラ
ス狀況ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ
吾々ハ租稅ト云フモノガ、固ヨリ繰返シ前
ノ討論者モ言ハレマシタヤウニ、國民ノ愛
國心ノ發露デアリ、更ニ又國家ノ收入ヲ目
的トシタモノデアルト云フコトハ、是ハ論
ヲ俟タナイノデアリマスガ、今日ノ此ノ戰
時財政ノ、所謂從來使用サレテ來タ所ノ慣
用語デアル所ノ健全財政ト云フヤウナ意味
デナクシテ、財政ノ堅實ヲ圖リ、戰時財政
ノ運用ヲ圓滑ナラシムルコトニ付キマシテ、
現在吾々ガ耐ヘ忍ビテ行ク所ノ生活上ノ上カ
ラ見マシテ、租稅ガ宜イカ、或ハ國債收入
ガ宜イカト云フコトニナリマスレバ、今日
吾々ハ貯蓄ト云フコトニ付キマシテ、有ユ
ル機會ニ於テ大藏大臣ガ言ハレテ居リマシ
タ通りニ、強制貯蓄ハ致サナイト云フコト
ハ言ハレテ居リマスレドモ、租稅ガ寧ロ
貯蓄ヨリハ、ヨリ以上ニ購買力ノ吸收ニ力
アルト云フコトハ、是亦言フマデモナイ所
ノ事實ナノデアリマス、隨テ度々委員會ニ
於テ將來ノ租稅ノ改革ニ付テ論議セラレテ
居ルノデアリマシテ、將來ニ於ケル所ノ政
府ノ租稅ノ改革ニ對スル御方針ト致サレマ
シテ、此ノ租稅政策ヲ戰時財政ノ運用ヲ圓滑
ナラシメル爲ニ、私ハ租稅ト云フモノヲ十
分御利用ナスツテ戴キタイト云フコトヲ御

願ヒ致シタイノデゴザイマス

此處ニ現ハレテ居リマス所ノ法律案ニ付
キマシテハ、色々細カイ點ニ付テハ議論モ
アラウトハ存ジマス、一方ニ増稅ヲ此ノ趣
旨カラシテ認メツツ、他方ニハ減稅ヲシテ
居ラナイデモナイノデゴザイマシテ、今日
ニ於ケル我が日本ノ現段階ニ於ケル財政狀
態ト云フモノガ、未ダ其ノ程度ヲ以テ出來
ルト云フコトヲ知ツテ、私ハ非常ニ慶ビト
スルモノデゴザイマスガ、將來ノ稅制ノ御
改革ヲ行ヒマスニ當リマシテハ、是非トモ
大藏當局ニ於カレマシテ戰時財政ノ堅實ナ
ル運用ヲ期セラレル爲ニ、租稅ト云フモノ
ヲ改善セラレマシテ、此ノ聖戰目的ヲ完遂
シ、最後ノ戰ノ勝利ヲ得ラレルヤウナ、完
全ナ稅制政策ヲ樹立セラレシコトヲ是非御
願ヒ致ス次第デゴザイマス、尙ホ地方團體
ニ付キマシテハ川崎委員カラ述ベラレタ點
ヲ援用致シテ置キマス

第三ニ吾々ト致シマシテハ將來益、稅金ノ
多クナツテ行クコトヲ覺悟シ、又稅金ノ多
クナルヤウナ稅制ガ現ハレテ來ルト存ズル
ノデゴザイマスガ、此ノ稅金ノ取り方ニ付
キマシテ、徵稅方法ニ付キマシテ大藏當局
ニ於テハ十分一ツ御考ヘニナツテ戴キタイ
ト存ズル次第デアリマス、市内ニ於キマシ
テハ納稅組合ヲ組織致シマシテ、毎月々々
稅金ヲ集メテ納稅ノ方法ヲ取ツテ居リマス、
將來稅額ガ増加スルニ付キマシテ、中々工
場、商店ノ金融ノ運用モ困難ニナツテ來ル
ト存ズルノデゴザイマスガ、是ハ納稅期ト
云フモノハ法律デ決マツテ居ツテ、俄カニ
變ヘ難イト存ズルノデゴザイマスカラ、其
ノ納稅方法ニ付テハ何等カ便宜ナ方法ヲ御
考ヘニナツテ行クコトガ結構ダト思ヒマス

尙又各會社或ハ各工場ニ於キマシテ勤勞
所得ノ源泉課稅ヲ取りマス時ニ各、カラ稅金
ヲ取ツテ居ルト云フコトニナツテ居ルサウ
デアリマスガ、大體各會社、各工場ニ於キマ
シテハ、其ノ會社ノ社員及ビ勞働者ニ拂フ
所ノ勤勞所得、賃金ト云フモノガハツキリ
御分リニナツテ居ルコトト存ズルノデゴザ
イマシテ、若シ斯ウ云フヤウナ稅金ヲ御取
リニナリマス所ノ方法ト致シマシテ、一括
シテ稅金ヲ御取りニナツテ戴クヤウナ方法
デモ考ヘテ戴クナラバ、非常ニ工場及ビ會
社ニ於キマシテハ人手ガ省ケルシ、又明瞭
ニ出來ルカト存ズルノデゴザイマス、將來
稅金ガ益殖ニ付キマシテ、出來ルダケ
納メラレ易イヤウナ方法ニ付テ何カノ御考
ヘラシテ戴キマシテ、徵收セラレシコトヲ
是非希望致ス次第デゴザイマス、以上希望
ヲ述ベマシテ原案ニ贊成スル者デアリマス

○勝委員長 此ノ際大藏大臣ヨリ發言ヲ要
求ガアリマス、之ヲ許シマス——賀屋大藏
大臣

○賀屋國務大臣 只今各委員ノ御討論ヲ拜
聽致シマシタガ、此ノ際大乘の見地ヨリ皆
原案ニ御贊成下サイマシテ、尙ホ其ノ上ニ
種々激勵ノ御言葉ヲ賜ハリ、又御注意ノ御
言葉ヲ賜ハリマシテ、眞ニ感謝致シマス、
唯河野委員ノ御述ベニナリマシタコトニ付
キマシテ、私ノ或ハ誤解カト存ジマスガ、
物動計畫、殊ニ南方カラノ物資ニ付キマシ
テ、今後數年間ノハツキリシタ計畫ヲ立テ
ロト云フ御話デアリマス、又ソレ等ニ付テ
モ祕密ニスル必要ハナイト云フ御話デアリ
マス、是ハ私ノ解シヤウガ悪イカモ知レマ
セスガ、私ト致シマシテ、左様ナコトハ既
ニ南方ノ戰爭ガ終リ、時局ノ終結ヲ見タ時

第六類第五號 所得稅法中改正法律案外十七件委員會會議錄 第十二回 昭和十七年二月五日

一五一

ノ有様ニ於ケルガ如キコトカト感シタノデアリマス、何サマ今ハ戰爭ヲ始メマシタバカリデアリマス、敵ハ緒戰ニ於テ大敗ヲ喫シマシタガ、マダ南方ニモ敵ガ居リマス、其ノ背後ニ世界最強最富ヲ誇ル英米ノ國力ガアリマス、私共ハ到底マダ其ノ段階ニ達シナイト思フノデアリマス、是ハ河野委員モ決シテ最早安全ト申シマスカ、時局ガ決マツタヤウニ御考ヘニナツテ居ルノデハナイト思ヒマスガ、私共ハ實際ノ計畫ハ益々適切周密ニ致サナケレバナラス、何サマ作戰ノ進行ニ依ツテハ來年再來年ガドウナルカ分リマセヌノデ、物動計畫ヲ公表シマスヤウナコトハ、言葉ヲ露骨ニ申上ゲサセテ戴キマスナラバ、思ヒモ及バヌ次第ト思フノデアリマス、是ハ事態ノ認識ニ關スルコトデアリマスルカラ、率直ニ一言申上ゲサセテ戴キマス

○勝委員長 討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、各案共原案ニ御賛成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

(總員起立)

○勝委員長 起立總員、仍テ各案ハ何レモ原案ノ通り可決致シマシタ

(拍手起ル)

○勝委員長 一寸御挨拶ヲ申上ゲマス、當委員會ハ去ル一月二十三日以來二週間、引續キ十二回ノ開會ヲ見タノデアリマスルガ、連日非常ニ熱心ナル御研究ヲ戴キマシタ、諸君ノ御勞苦ニ對シテ深ク感謝ノ意ヲ表スルト同時ニ敬意ヲ表シマス(拍手)是ニテ散會致シマス

午後二時三十五分散會

昭和十七年二月五日印刷

昭和十七年二月六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局